

こども施策関連事業の実施状況と 今後の計画について



佐賀県子育て応援
キャラクター
さがっぴい

〈本日の説明項目〉

	施策の柱	令和8年度の主な取組	担当課	令和8年度の主な取組 〈物価高騰対応関係〉	担当課
施策1	骨太なこどもの育ちを応援	ほいくのたね。プロジェクト	こども未来課	1 子育て世帯への移動支援	こども未来課
		読書活動の推進	まなび課	2 保育施設等への空調設備費補助	こども未来課
施策2	困りごとがあるこども若者	「いじめに向き合う佐賀県」発信事業	こども未来課	3 保育所等への学校給食費等の補助	こども未来課
		入院中のこどもの付添い支援	こども家庭課	4 保育所・児童養護施設等への支援金	こども未来課・こども家庭課
		ヤングケアラーへの支援	こども家庭課	5 さがこどもエールプロジェクト	こども家庭課
		地域障害児支援体制の強化	障害福祉課		
施策3	若い世代のライフプラン	縁カウンターさが事業	こども未来課		
		男性の家事・育児参画の推進	男女参画・女性の活躍推進課		

ほいくのたね。プロジェクト



【こども未来課】

◆事業の概要・実施計画

- * 現役保育者に対する離職防止事業、学生及びその保護者、潜在保育者に対して保育の魅力を発信
 - ▶ 保育現場の喫緊の課題である人材不足の問題を解決する

◆実施状況

- ・ 保育所等の働き方改革の支援
- ・ 体験学習サポートハンドブック配布
- ・ 就職後1、3、10年目保育者への応援事業
- ・ 保育の魅力発信バスツアー 新規
- ・ 保育の魅力発信動画・コミック広報
- ・ 保育の魅力発信フェス事業
- ・ カスタマーハラスメント対策 新規



▲ 保育者への応援事業

佐賀県こども未来討論会 ▼



読書推進事業

【まなび課】

◆事業の概要・実施状況

* 新刊児童書全点購入

こどもたちが本に親しむ環境づくりのため、佐賀県では、新刊児童書を全て購入。購入した児童書は、希望する市町図書館への貸出や司書の研修などにも活用。

* 読み聞かせノート・読書ノート

保護者等が読み聞かせを記録するノートや小学生を対象とした読書記録ノートを作成・配布。

* こころざしスポット

県内各地の児童クラブや病院、児童施設など、こどもたちに身近な場所に県立図書館が所蔵する児童書を提供。「こころざしスポット」（県内519か所）。

* スクール読書チャレンジ

学校司書が中心となり、県内の学校を対象にアイデアあふれるイベントや企画を幅広く募集し、県で公表・表彰。

* 紙上健吾氏との学校図書館Reデザイン 新規

SNSで小説紹介の情報発信を行う動画クリエイター紙上健吾氏と学校図書館の利活用について、先生・司書・生徒と一緒に検討。

* さが本恋プロジェクト（10月4日 さが本恋フェス開催）

本に親しむ機会が減少する中高生へ対し、ビブリオバトルを通して、同世代で本の魅力や面白さを伝え合い読書の楽しさを体感してもらう機会を創出。

* 司書県さが推進事業 新規

司書のスキルアップと司書活動を支援することで、県民の読書環境の充実を図る。



「いじめに向き合う佐賀県」発信事業

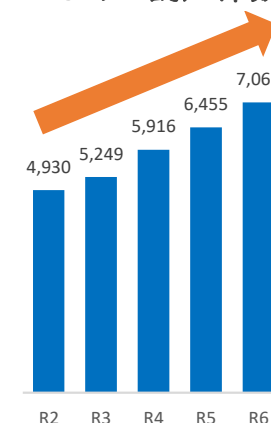
新規

【こども未来課】

現状・課題

- ・ 佐賀県のいじめの認知件数は**増加傾向**（小中高特 R2：4,930件→R6：7,067件）
- ・ 自分の言動がいじめに該当するとの認識を持っていない**加害者**や**傍観者**が存在。
- ・ 一時的な感情から発せられる言動や態度、何気ない一言、ちょっとしたいじり、無意識のうちにとった態度がいじめとして認知されている。
- ・ 一人一人が**自分の言葉や行動を見つめなおす機会**となるような意識啓発が必要。

いじめの認知件数



事業目的

- ・ いじめを**県全体の問題として捉え直し**、いじめ予防対策に取り組むことで、人の痛みや辛さがわかり、高い志と佐賀への誇り、**優しさをもった骨太な子ども**を育てる機運醸成を図る。

事業内容

- ・ **いじめ防止を啓発するための動画**を制作し、**SNSでの配信**や**学校現場等で活用**していく。
- ・ 県全体でいじめ予防対策に取り組む機運醸成を図る。

学校での活用
(道徳の授業やホームルーム等)



目指す姿

子ども一人一人が自分の言動や行動を見つめ直す機会となるような意識啓発を図っていく！



SNS等による配信



入院中の子どもの家族の付き添い等に関する環境改善事業費補助

新規【こども家庭課】

入院中の
こどもの家族



- ・付き添う保護者が寝る場所がなく、数日の入院は大変だった。
- ・コンビニでパンや軽食は買えるが、温かいものが食べれたらよかった。
- ・シャワーを浴びれたらよかった。

- ・少しでもゆっくり休んでもらえるように、簡易ベッド・寝具を整備したい。
- ・電子レンジ等を使いやすくして、せめて温かい食事をとってもらいたい。
- ・シャワー室を整備して、利用してもらいたい。

医療機関



入院中のこどもの家族の環境整備の取組等の充実を図り、こどもや家族が安心して入院することができる環境改善を推進

施設整備

こどもの付き添いをする家族が休息できるスペースを設置

- ・多床室の病床数を減らし、棚の設置やパーティション等で半個室化
- ・付き添い家族のためのシャワー室の整備 等

【補助基準額】医療機関あたり7,560千円



休憩用
スペース
など

物品購入

- ・睡眠支援…簡易ベッド、ソファベッド、寝具（ベッドマット、シーツ等）
- ・食事支援…電子レンジ、電気ケトル等
- ・その他…休憩用の椅子、机、テーブル等

こどもが家族とオンラインで話すためのタブレット端末 等

【補助基準額】医療機関の小児患者に係る1床あたり20千円



簡易ベッド、寝具等



冷蔵庫や給湯器

申請期間

令和8年7月1日～7月31日

◆事業の概要

- ＊ 研修講師の紹介・派遣
 - ・ヤングケアラーについての正しい知識と理解及び関心を高め、さらなる普及啓発を図る
 - ・関係機関（市町、学校関係、民生委員等）が企画する研修に県職員を派遣、招請内容に応じて外部講師の斡旋、調整を行う

◆実施状況

研修

- ＊ 24団体
1,126名（オンライン116名）の方が受講（令和8年3月末現在）

効果

- ・市町の地域福祉、高齢者、人権等の関係機関からの関心が高く、周囲の理解が広がっている。
- ・受講後には「視点が広がった」との声が多く、各機関で連携の見直しや佐賀県ヤングケアラー専門相談ダイヤルへの問合せにも繋がった。
- ・学校関係者や高校生・大学生に向け講義を行い、より身近な周囲の気づきや当事者の気づきのきっかけになっている。

▶この結果を踏まえ、今後は学校関係者向けの実施の充実を図り、継続予定



◆事業の概要

- * 佐賀県地域障害児支援体制整備協議会において、児童発達支援センターと市町等の関係機関を中心とした連携強化を図り、「各障害保健福祉圏域における面的整備型の障害児支援体制整備」の確立を目指す。

計画

- ・ 令和7年度 現状の把握・分析
- ・ 令和8～9年度 市町と児童発達支援センターを中核とした連携体制の構築
- ・ 令和10年度～ 各圏域において持続可能で自走できる障害児支援体制の確立

- * 児童発達支援センターが地域における障害児支援の中核的役割を担うことができるように機能強化を行う。

◆実施状況

佐賀県地域障害児支援体制整備協議会

- * 令和7年7月 第1回協議会
佐賀県地域障害児支援体制整備協議会の目標に向けたロードマップ作成
- * 令和7年11月～12月
現時点の障害児支援体制についての基礎調査を実施
- * 令和7年12月～令和8年1月
各圏域との意見交換会を実施
- * 令和8年2月 第2回協議会
各圏域の現状をとりまとめて圏域特有の課題と県全域の課題に分けて整理
- * 令和8年8月 第1回協議会（予定）
各圏域の障害児支援体制の課題解決に向け、検討

児童発達支援センター機能強化事業

- * 佐賀県内の児童発達支援センターに下記事業を委託
(必須)
 - ・ 訪問による療育指導
 - ・ 外来による療育指導
 - ・ 地域の事業所職員等に対する療育技術指導
 - ・ 地域の療育機関に対する支援
 - ・ 在宅障害児（者）等やその家族に対する支援
- (任意)
 - ・ 地域全体の支援者に向けた研修会や事例検討会の開催 等



縁カウンターさが事業

拡充

【こども未来課】

◆事業の概要・実施計画

結婚を希望している独身男女の出会いの場を創設するとともに、社会全体で出会いと結婚を応援する機運を高める。

* 1対1のお見合い事業

- ・さが出会いサポートセンターの運営
- ・結婚支援システムによるお相手検索、お見合いの実施
- ・会員の募集、管理、スキルアップセミナー、マッチングアプリセミナーの実施

* スタッフ資質向上研修

- ・センタースタッフ向け研修の実施
- ・先進地視察

* 「出会い結婚応援企業」・「出会い応援隊」の募集・登録・管理

- ・登録企業へのイベント情報やメルマガの配信
- ・応援隊が実施する婚活イベントの情報の掲載

* 結婚支援システムの機能拡充

- ・オンラインでの登録機能などを付加することにより、会員の利便性向上を図るとともに、20代の新規会員を取り込む

* 婚活イベントの実施

- ・佐賀県ならではの場所での婚活イベントの実施（県主催2回、センター主催4回）



◆実施状況

さが出会いサポートセンター運営状況

(令和8年6月末現在)

- ・会員数：男性352人 女性208人 計560人
- ・成婚数：327組（累計）
- ・出会い結婚応援企業：427社
- ・出会い応援隊：93団体
- ・出会い応援隊婚活イベント：147回実施 1,573名参加



セミナー等実施状況

(令和7年度)

- ・出会い結婚応援企業セミナー：211社参加
- ・会員向けセミナー：8回実施 計76名参加
- ・マッチングアプリセミナー：30名参加
- ・企業間婚活イベント：12名参加、マッチング2組

(令和8年度)

- ・出会い結婚応援企業セミナー：157社参加
- ※その他、各種セミナー、婚活イベント実施予定

企業支援、男性の意識改革、育児休業取得の機運醸成を一体的に実施

SAGA PAPA育児アシスト奨励金

マイナス1歳からのイクカジ推進事業

SAGA PAPA
育休アシスト奨励金

佐賀県では、パパになる従業員の育児休業取得を応援する事業所に、奨励金を交付しています。

経営者の方へ
男性従業員が
育児休業を取得すると、
20万円支給します。

育児休業取得企業奨励金
通算14日以上
男性従業員が
育児休業取得
1回限り
定額 **20万円**

育児休業取得者手当奨励金
男性従業員の
休業期間中に
手当等を支給
1人あたり1日（最大28日分）
最大 **3,000円**
※出生後休業支援給付金との併用不可



- ・男性の育児参画をテーマに、沐浴体験やセミナーを実施。
- ・妊娠期から家事・育児について夫婦で話し合うきっかけとなる「SAGA PAPAポケットブック」を配布。

九州・山口と連動した取組 イクドリ！宣言認証制度 創設

男性の育児休業
取得促進の機運を醸成

2週間以上の育児休業取得
100%を目指す
企業・事業所 **拡大中**



▲上司から育休取得者
へ応援メッセージを

◆実施状況 令和7年度：54事業所
令和8年度：15事業所（R8.8.12時点）

佐賀県内で300を超える事業所が参加！

子育て世帯移動支援事業

R7年度2月補正
新規

【こども未来課】

◆事業の概要

＊ 子育てしやすい環境を整備する「子育てし大県“さが”プロジェクト」の一環で、子育てし大県“さが”タクシーを活用したスムーズな外出支援を目的として、子育てし大県“さが”タクシー利用券（2万円）を申請に応じて交付。

対象

- ・ 0～2歳児の育児を行う家庭



◆実施状況

＊ タクシー利用券交付件数：4,996件
（令和8年8月12日時点）

佐賀県
0～2歳児世帯
子育てし大県“さが”タクシー利用券

利用券番号	第 号
氏 名	様
住 所	
有効期限	令和 9 年 2 月末日

子育てし大県“さが”

0～2歳児世帯
子育てし大県“さが”タクシー利用券

利用券番号	第 号
氏 名	様
助成金額	500円
利用可能回数	本券は1回の乗車に複数回利用可
乗車日	令和 年 月 日
有効期限	令和 9 年 2 月末日
取扱事業者	
発行者	佐賀県知事

子育てし大県“さが”



保育施設等への空調設備費補助

◆事業の概要

- * 物価高騰の長期化により影響を受ける保育・幼児教育施設におけるエネルギーコストの削減を図り、こどもの安全及び健康を確保するため、省エネ型空調設備の設置又は更新に要する経費について、補助金を交付。

対象

- ・ 保育所、認定こども園、地域型保育事業所、幼稚園及び認可外保育施設

補助対象上限

- ・ 300万円/施設（県補助額225万円）

補助率

- ・ 県 3 / 4 （事業者負担 1 / 4）

◆実施状況

- * 交付件数：48件
省エネ型空調設備の設置又は更新後は保育施設等へさがっぴいステッカーを交付する。



保育所等への学校給食費等の補助

◆事業の概要

- * 物価高騰の長期化により影響を受ける保育・幼児教育施設において、栄養バランスや量を保った給食の実施のほか、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、食材料費（給食費を上回る部分）に要する経費について、補助金を交付。

対象・補助率

対象	県	市町
保育所、認定こども園(2・3号)、地域型保育事業所	1/2	1/2
幼稚園、認定こども園(1号)、認可外保育施設	10/10	



補助対象上限

- ・ 3 6 千円（副食のみ 2 2 千円）／園児

◆実施状況

- * 交付件数：2 3 9 施設（令和 7 年度）



保育所・児童養護施設等への支援金

◆事業の概要

＊ 物価高騰の長期化により影響を受ける保育所や児童養護施設等に支援金を交付。

対象

- ・ 保育所、認定こども園、地域型保育事業所、幼稚園及び認可外保育施設、放課後児童クラブ、児童養護施設、ファミリーホーム、自立支援ホーム、母子生活支援施設、女性自立支援施設等
- ※医療機関、高齢者施設、障害福祉施設等も同様の支援金を交付。

基準単価

※第5弾は下記単価で実施予定。(第1～4弾は受付終了。)

対象施設	基準単価	加算額
入所施設	40千円/施設	病院、有床診療所：15千円/床 福祉施設：5千円/利用定員 児童養護施設：5千円/利用定員 ・ファミリーホーム等：加算なし
通所施設	・ 無床診療所、助産所 40千円/施設 ・ その他の施設 20千円/施設	福祉施設：2千円/利用定員 保育施設等：1千円/利用定員 無床診療所、歯科診療所、助産所、あはき事業所、保険薬局、地域共生ST、放課後児童クラブ等：加算なし
訪問系事務所		加算なし

◆実施状況

- ＊ 令和7年度
保育所等：240施設、児童養護施設等：18施設

さがこどもエールプロジェクト

◆事業の概要

- ＊ ひとり親家庭などの子育て世帯やその子どもを対象に、食事等の提供を行う子どもの居場所など、志をもって地域で活動する県内の子育てCSO(※)の取組を支援することで、物価高騰の影響を受けて困窮する子育て世帯へきめ細かな支援を県全域へ行き届かせる。

※ Civil Society Organizations

対象

- ＊ 佐賀県内で子どもの居場所、こども宅食、コミュニティフリッジの支援を実施するCSOで、3か月以上の活動実績がある団体。

内容

- ＊ 物価高騰対応として物品の追加提供を行う子どもの居場所、こども宅食、コミュニティフリッジなどを運営する子育てCSOの当該事業に要する経費を支援。

助成概要



◆実施状況

申請受付期間 <第1期> 令和8年4月分:34件交付決定
<第2期> 令和8年6月分:18件交付決定

さがこどもエールプロジェクト

子どもたちへの
「追加の食事・食品」
を支援します。

生活に困窮する世帯や子どもたちに食事・食品配布等を行うCSOの活動経費を助成し、物価高で困窮されている方々への支援につなげる助成金です。

